

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年4月7日夕刊

悪意の貼り紙に負けないで

新型コロナウイルス感染拡大による昨年4月の緊急事態宣言発令から7日で1年。宣言中は政府の要請に従わない人や店を攻撃する「自粛警察」という言葉が話題となった。千葉県八千代市の駄菓子店「まぼろし堂」は誤解から標的にされた店舗の一つ。当時恐怖を感じたという店主の村山保子さん(75)は、100通を超える励ましの手紙に「救われた」と振り返る。

「ゴドモアツメルナ。オミセシメロ」。感染拡大を受け、自主休業していた昨年4月下旬、店の門扉にカタカナで書かれた紙が貼り付けられた。定規を使ったような角張った赤い文字で書かれた言葉に、村山さんは強い不安を覚えたという。「もうお店はやめよう」。心が折れかけた村山さんに同5月、1通の手紙が届いた。「頑張ってください。いつか遊びに行くから」。差出人は貼り紙の件をニュースで知ったという子どもだった。

手紙はその後も全国から続々と届いた。「体に気を付けて頑張って」。貼り紙に負

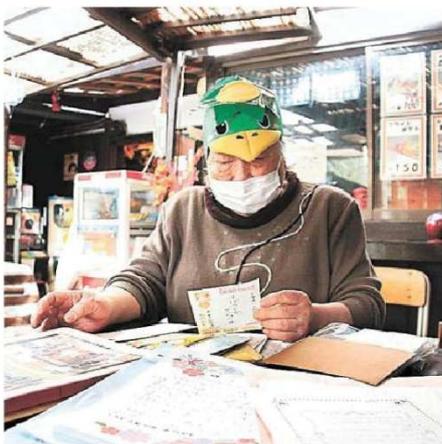
「標的」駄菓子屋 励ます手紙続々

①記事中の「自粛警察」とは、どのような人たちを言っていますか。

②記事の駄菓子店の店主はどのようなことに恐怖を感じましたか。

千葉 高齢店主「救われた」

けるな。かつて常連だった高校生は自主的に店の周辺をパトロールしてくれた。数々の応援に背中を押され、村山さんは「駄菓子店は私がやらなきゃいけない仕事」と思い直したという。昨年8月、人気スナック菓子「詰合せ」を屋外で始末したが、感染拡大への懸念から店舗の通常営業再開のめどは立っていない。いまは鳴りを潜めたように見える「自粛警察」とは何だったのか。村山さんは「人々の間に(自粛の)立ちを、ふつける場所があったのではないか。今は我慢しようという気持ちが生まれたか」と話している。



店のマスコットキャラクターのカップの帽子をかぶり、「まぼろし堂」に届いた手紙を読む村山保子さん＝6日、千葉県八千代市

③記事中で、駄菓子店の店主が救われた手紙の内容が書かれているところに線を引きましょう。

④記事を参考に、「自粛警察」に対するあなたの考えを書きましょう。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校／道徳)

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年4月7日夕刊

悪意の貼り紙に負けないで

新型コロナウイルス感染拡大による昨年4月の緊急事態宣言発令から7日で1年。宣言中は政府の要請に従わない人や店を攻撃する「自粛警察」という言葉が話題となった。千葉県八千代市の駄菓子店「まぼろし堂」は誤解から標的にされた店舗の一つ。当時恐怖を感じたという店主の村山保子さん(75)は、100通を超える励ましの手紙に「救われた」と振り返る。

「コドモアツメルナ。オミセシメロ。」感染拡大を受け、自主休業していた昨年4月下旬、店の門扉にカチカチで書かれた紙が貼り付けられた。定規を使ったような角張った赤い文字で書かれた言葉に、村山さんは強い不安を覚えたという。「もつお店はやめよう」。心が折れかけた村山さんに同5月、1通の手紙が届いた。「頑張ってください。いつか遊びに行くから」。差出人は貼り紙の件をニュースで知ったという子どもだった。

手紙はその後も全国から続々と届いた。「体に気を付けて頑張って」「貼り紙に負

「標的」駄菓子屋 励ます手紙続々

①記事中の「自粛警察」とは、どのような人たちを言っていますか。

(新型コロナウイルス感染拡大による)緊急事態宣言中に政府の要請に従わない人や店を攻撃する(人たち)

②記事の駄菓子店の店主はどのようなことに恐怖を感じましたか。

(例)「コドモアツメルナ。オミセシメロ。」と角張った赤い文字で書かれた紙が門扉に張り付けられたこと。

③記事中で、駄菓子店の店主が救われた手紙の内容が書かれているところに線を引きましょう。

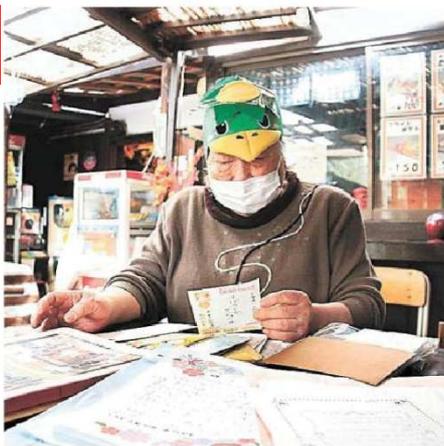
④記事を参考に、「自粛警察」に対するあなたの考えを書きましょう。

千葉 高齢店主「救われた」

けるな。かつて常連だった高校生は自主的に店の周辺をパトロールしてくれた。数々の応援に背中を押され、村山さんは「駄菓子店は私がやらなきゃいけない仕事」と思い直したという。

昨年8月、人気スナック菓子「詰め合わせ」の駄菓子店「詰め合わせ」の店主の村山保子さんが、感染拡大への懸念が

から店舗の通常営業再開のめどは立っていない。いまは鳴りを潜めたように見える「自粛警察」とは何だったのか。村山さんは「人々の間に(自粛の)立ちを、ぶつける場所がなかったのではないか。今は我慢しよう」という気持ちが生まれたと思いたい」と話している。



店のマスコットキャラクターのカップの帽子をかぶり、「まぼろし堂」に届いた手紙を読む村山保子さん＝6日、千葉県八千代市

(例)いらだちをぶつける場所がなく、我慢できなかったのではないか。
 自分は正義を守っているので、何とかしなくてはという気持ちがあったのではないか。
 注意して生活する人だけが疲れてしまって、何もしない人を許せなかったのではないか。
 など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校/道徳)